

# 神奈川県交通事故「見える化」プラン

～要対策箇所の事業効果確認の段階へ～

## 記者発表資料

### 今年度の神奈川県安全性向上プロジェクトの展開について

#### これまでの取組

- 神奈川県安全性向上委員会（平成17年12月設置、委員長：岡村敏之 横浜国立大学大学院工学研究院助教授）では、神奈川県内の交通事故の現状等に関するデータから課題を「見える化」し、交通事故の削減に向けた取り組みを行っています。
- 神奈川県における交通事故の特性としては、①死傷事故件数が多い、②死傷事故率が高い、③高齢者事故が増加傾向、④二輪車事故の割合が高い、⑤自転車事故の割合が高い等があげられます（別紙1参照）。
- 昨年度は、事故データの分析結果、県内の道路管理者が問題視している箇所から、緊急に対策を実施すべき要対策箇所として、15箇所を選定しました。

#### 今年度の取組

- 今年度は、2回の委員会を実施し、昨年度抽出した15箇所（内、平成17年度に5箇所施工完了、平成18年度に10箇所施工）について順次施工を行い、その事業効果のフォローアップを行っていく予定。
- 今年度の予定
  - ・ 第4回委員会 平成18年11月20日（月）パンパシフィックホテル横浜
  - ・ 第5回委員会 平成19年 3月中旬予定

平成18年11月17日  
神奈川県安全性向上委員会

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、  
横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会、川崎記者クラブ

#### 問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 tel 045-316-3541  
計画課長 どひまなぶ 土肥 学  
交通対策課長 ながぬま 長沼 泉

# いよいよ次のステップへ！ ～要対策箇所15箇所のフォローアップ～

## ■神奈川県事故特性

●着目1  
死傷事故件数が多い(※1)

●着目2

二輪車・自転車の事故が多い(※2)

●着目3

高齢者の事故が多い(※3)

抽出

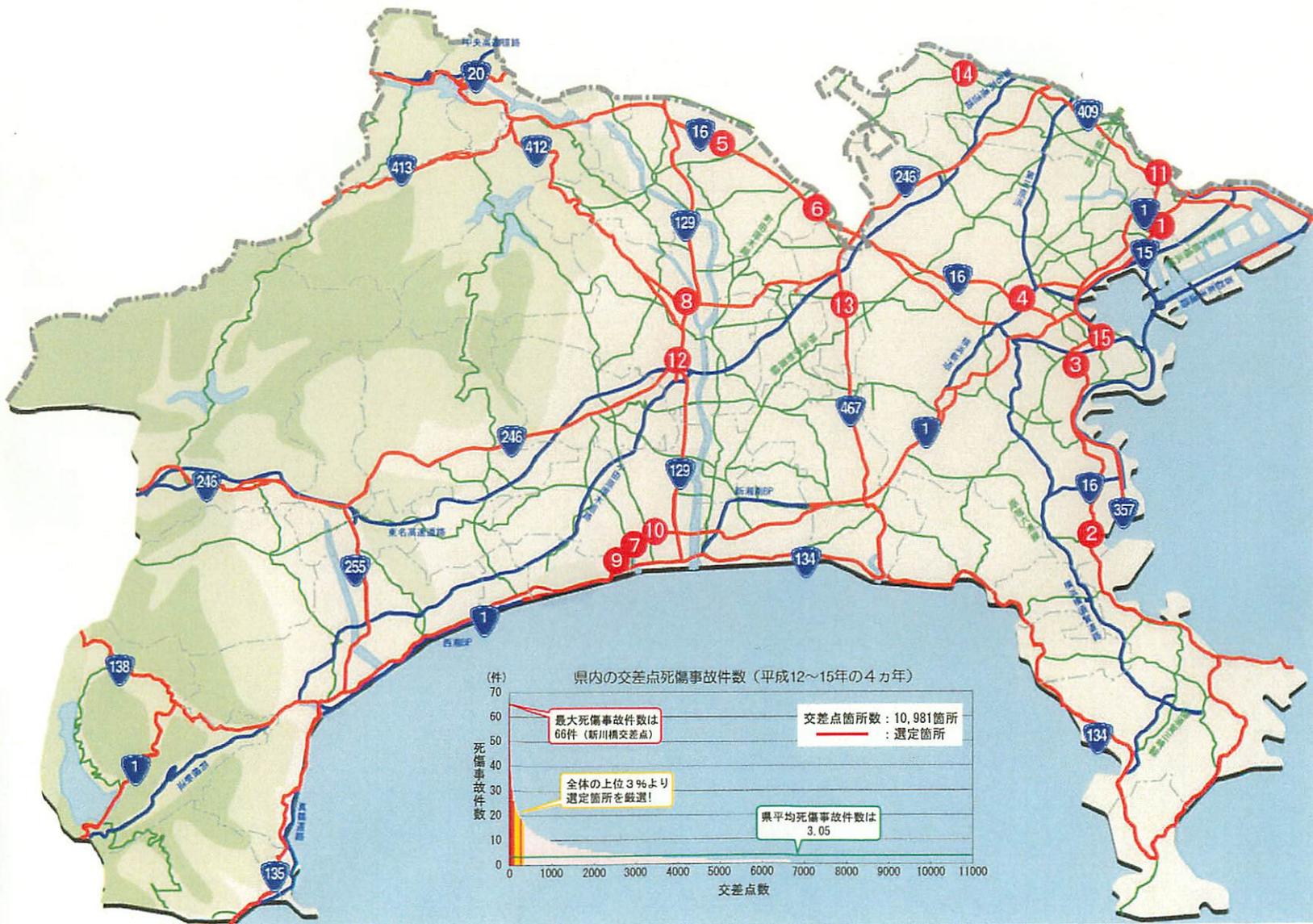
## ■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

詳細に分析

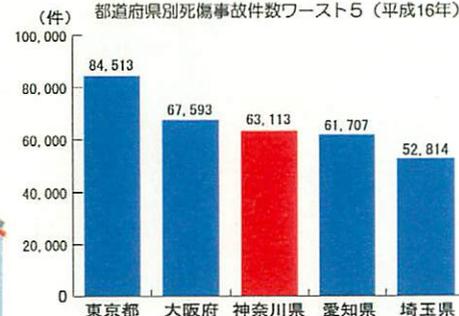
## ■要対策箇所

県内の**15箇所**を厳選



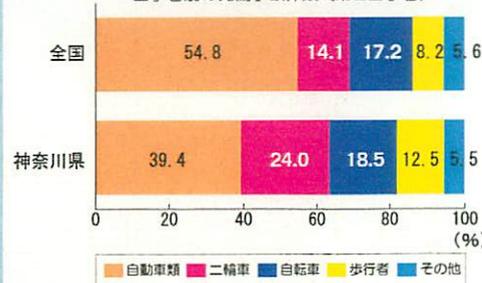
### ※1 死傷事故件数が多い!!

都道府県別死傷事故件数ワースト5 (平成16年)



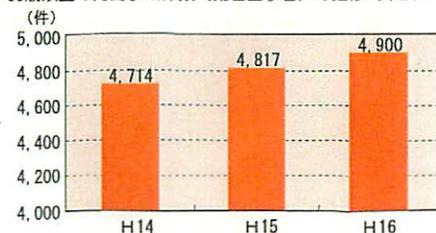
### ※2 三輪車・自転車の事故が多発!!

当事者別の死傷事故件数 (第2当事者)



### ※3 高齢者の事故が増加傾向!!

65歳以上の死傷事故件数 (第2当事者) の推移 (平成16年)



## 要対策箇所一覧表

【凡例】◎：実施済，○：施工中，●実施予定

番号	路線名	地先名	箇所名	選定理由	対策状況
1	国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率	◎
2	国道16号	横浜市金沢区	君ヶ崎交差点	死傷事故率	●
3	国道16号	横浜市南区	吉野町3丁目交差点	死傷事故率	●
4	国道16号	横浜市保土ヶ谷区	保土ヶ谷公園入口交差点	死傷事故率	●
5	国道16号	相模原市高根	淵野辺交差点	自転車事故等総合的に選出	◎
6	国道16号	相模原市相模大野	東林間入口交差点	事故件数	◎
7	国道1号	大磯町高麗	相模貨物駅前交差点	自転車事故等総合的に選出	●
8	国道246号	厚木市妻田	妻田伝田交差点	自転車事故等総合的に選出	●
9	国道1号	大磯町高麗	花水橋東交差点	自転車事故等総合的に選出	●
10	国道1号	平塚市明石町	崇善小学校前交差点	自転車事故等総合的に選出	●
11	国道1号	川崎市幸区	尻手交差点	自転車事故等総合的に選出	●
12	国道246号	厚木市松枝	市立病院前交差点	自転車事故等総合的に選出	●
13	国道467号	大和市深見台	光ヶ丘交差点	死傷事故率	◎
14	(主)津久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	県警ワースト100等総合的に選出	◎
15	(主)藤棚伊勢佐木線	横浜市中区	初音町交差点	自転車事故等総合的に選出	○